

Reliability and Validity of the Japanese Version of the Ocular Surface Disease Index for Dry Eye Disease

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2020-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 猪俣, 明恵 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002402

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2156 号

Reliability and Validity of the Japanese Version of the Ocular Surface Disease Index for Dry Eye Disease

日本語版ドライアイ疾患特異的質問紙票 OSDI の妥当性と信頼性の検討

猪俣 明恵 (いのまた あきえ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、本邦におけるドライアイの自覚症状の評価とモニタリングのための効果的な質問紙票として、J-OSDI の信頼性と妥当性が確認された、臨床的に意義のある論文である。

ドライアイは本邦で 2,000 万人以上が罹患するとされる最も多い眼疾患の 1 つであり、超高齢社会、デジタル社会において今後も増加が予想されている。ドライアイの診断基準は 2016 年に改訂され、自覚症状の有無と涙液層破壊時間の低下からなされることとなり、自覚症状は質問紙票による自覚症状の定量化が推奨された。そこで本論文は、ドライアイ疾患特異的質問紙票である Ocular Surface Disease Index の日本語版 (J-OSDI) を開発し、その信頼性・妥当性を検証ならびにドライアイが疑われる最適なカットオフ値を評価した。J-OSDI はその文化的整合性ならびに良好な内部整合性、再検査信頼性および判別妥当性、基準関連妥当性が確認された。また因子分析により、OSDI と同様に J-OSDI は 3 つのサブスケールに分けられることが確認された。J-OSDI のドライアイが疑われる最適なカットオフ値は 36.3 点であった。これにより、本邦において J-OSDI を用いたドライアイの自覚症状の定量評価とモニタリングを行うことを可能としている。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。